

---

# 永久の花

相庭 ゆうき

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

永久の花

### 【Zコード】

Z2945A

### 【作者名】

相庭 ゆうき

### 【あらすじ】

永久に咲く花の最期。永久を知る彼女の命。

永久に咲く花を知ってるかい？

彼はそう言つて腕に抱いた彼女の髪にそっと顔を埋めた。

黒く艶やかな長い髪が揺れる。

彼女は彼の胸の中で目を閉じたまま呟く。

知らないわ。

顔を上げて、髪に埋まっていた彼の顔を見つめる。  
ゆっくりと繋がる唇。

朝焼けの赤い光だけが薄暗い部屋を仄かに照らす部屋の中。  
彼が指さす先には、小さな植木鉢が置かれていた。

あれが、悠久花。

とこしえに、さく、はな。

小さな植木鉢にさらにもう乗つかつていてる白い花。

雪よりも白く、彼女の知つているどの花とも違つた形状をした、  
美しい花。

朝焼けに染まりほのかに色づくその色は、初恋にときめく処女の  
頬の様な色をしていて。水も要らず、陽の光も要らず、枯れることなくその姿を留め続けた花。

何代もの人の手に渡り、その歴史を眺めていた花。

彼が花を指さしたその手に、そつと彼女の指を絡めて引き寄せる。  
彼女が彼の胸板を撫で、うつとりしたように、そして言う。  
確かに奇麗。でも可哀想ね。

どうして？

本当に美しい物は刹那を生きるのよ。

あの花をいついかなる時にも見ることの出来ることは、それなり  
に気持ちいいことかもしれないけれど。

桜を見る時のような、鮮烈な印象を残すこととはきっとない。

それは、あのときあの瞬間に出会えたことに対する喜び。もう一

度と同じ時は来ないといつ過去への希求の念。これからももう一度  
とないでありますことを望見してしまふ愚かさ。

希望という名の幻想。あまりにも美しい、夢幻。

本来の美しさに加えて、時間という制限を得ることによつて、花  
に限らず、何もかもが、激しく輝きだすの。

人生は一期一会。

物質的な永遠なんて、私はいらない。  
あなたといふこの一瞬が全て。この一瞬を永遠に変えて、ただ感  
じていてほしい。

そして枯れ落ちる時にこう言つたよ。

私の一瞬一瞬の連続という人生の中で、輝いていない時はなかっ  
た。

全てが私の心を悠久の時で満たして眩しく輝いている。  
全てが終わる今、この時も。

彼は彼女の髪を優しく優しく撫でた。

……花は散るから美しい。散りゆく様も、そして散り終わった後  
も。永遠に私達の心の中で輝き続けるでしよう。

人は死ぬから美しい。死に向かつて、けなげに走っていく様は、  
あまりにも光に溢れている。そして、死んだ後も。私達に永遠を残  
していくでしよう。

彼は彼女の髪を優しく優しく撫でた。

いつでも見られる。だからその成り行きを見守る必要もない。

いつしか、忘れ去られていくだけの存在。

その日、永久に咲く花は、誰にも見られることなく、ポトリと  
落ちた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2945a/>

---

永久の花

2010年10月17日01時57分発行